

平成27年度
第3回碩田中学校区新設校開校準備委員会

日時：平成27年11月17日（火）

19:00～

場所：大分市教育センター・202研修室

I 開会のことば

II 委員長あいさつ

III 議事

1 経過報告（5分）

2 各専門部会からの報告・協議について（各部会20分）

3 その他（5分）

IV アドバイザーからの助言（お一人5分）

V 閉会のことば

Ⅲ 議事

1 経過報告

(1) 第3回開校準備委員会までの経過

2 各専門部会からの報告・協議について

(1) 報告及び協議

① 学校部会

② 学校支援部会

③ 施設部会

(2) その他関連する事項の協議

3 その他

(1) 第4回開校準備委員会の開催について

○第4回 2月16日(火) 19:00～
大分市教育センター・研修室302

○開催案内 1月中旬に発送予定

第3回 碩田中学校区新設校開校準備委員会

資料集

平成27年度 開校準備委員会・専門部会のスケジュール

	開校準備委員会	専門部会		
		学校部会 (研修室202)	学校支援部会 (研修室302)	施設部会 (研修室201)
27年度				
4月	4/21 第1回開校準備委員会 (研修室302) →	部会付託事項	部会付託事項	部会付託事項
5月		5/11 専門部会①	5/11 専門部会①	5/11 専門部会①
6月		6/16 専門部会②	6/16 専門部会②	6/16 専門部会②
7月		7/28 専門部会③	7/28 専門部会③	7/28 専門部会③
8月	8/18 第2回開校準備委員会 (研修室302) ←	委員会報告	委員会報告	委員会報告
		8/25 専門部会(台風で中止)		8/25 専門部会(台風で中止)
9月		9/29 専門部会④	9/29 専門部会⑤	9/29 専門部会④
10月		10/20 専門部会⑤	10/20 専門部会⑥	10/20 専門部会⑤
11月	11/17 第3回開校準備委員会 (研修室202) ←	委員会報告	委員会報告	委員会報告
		11/24 専門部会⑥		11/24 専門部会⑥
12月		12/15 専門部会⑦	12/15 専門部会⑧	12/15 専門部会⑦
1月		1/26 専門部会⑧	1/26 専門部会⑨	1/26 専門部会⑧
2月	2/16 第4回開校準備委員会 (研修室302) ←	委員会報告	委員会報告	委員会報告
		2/23 専門部会⑨	2/23 専門部会⑩	2/23 専門部会⑨
3月				

第3回碩田中学校区新設校開校準備委員会 学校部会 報告事項・協議事項

1 校名案について (別紙)・・・報告及び協議

(1) 応募された校名案及び学校部会での検討結果

(2) 開校準備委員会での校名案の決定

2 制服について (別紙)・・・報告

(1) 各学校での保護者を対象にしたアンケートの結果及び意見・要望等

(2) 今後の取組

以下の項目について、検討する必要がある。

○新設校に制服を導入するか、しないか。

(導入する場合は、)

○どの期から導入するか。

○現在の碩田中学校の制服のデザインを引き続き採用するか。新しいデザインを採用するか。

○移行期間をどのように設定するか。

検討の視点

☆教育効果及び各種指導

☆経済性を考慮したデザイン、素材等

☆運動、動きやすさ(遊びやすさ)等機能を考慮したデザイン、素材等

☆健康・衛生面(体温管理、洗濯等)を考慮したデザイン、素材等

☆個に応じた対応等(標準服、デザイン選択、お下がりの活用等)

3 メモリアルコーナーについて (別紙)・・・報告

(1) メモリアルコーナーの概要等

(2) 検討事項

4 校歌、校章について (別紙)・・・報告

(1) 校歌の制作方法等

(2) 校章の制作方法等

5 今後の予定(案)について (別紙)・・・報告

1 碩田中学校区新設校の校名案について

(1) 基本方針

大分市学校教育指導方針に示す「目指す子ども像」<未来を切り拓く心豊かでたくましい子ども><個性を發揮し、夢と希望をもって、主体的、創造的に生きる子ども><生涯にわたって学びつづける基礎を身に付けた子ども>及び新設校のグランドデザイン等を踏まえ、子ども、保護者、教職員、地域住民等に愛される学校となるよう、大分市初の施設一体型小中一貫教育校にふさわしい校名案を作成する。

(2) 留意事項

- 原則として、常用漢字を使用すること。 ○難しい漢字、誤読しやすい漢字は使用しないこと。
- 市内の他の校名と同様の校名は使用しないこと。○現在の小学校名(荷揚町、中島、住吉)は使用しないこと。

(3) 校名案検討 ※応募された校名案数 268

校名案	理由 (思い・願いなど)
①碩田小中学校 小中一貫教育校 学園等 (7割程度)	・「碩田」は「大分」の古名であり、古くは景行天皇が名付けたという「碩田(おおきた)国」に由来する。・「碩」には、「優れている」、「充実している」という意味があり、学校名に使う漢字としてふさわしい。・これまでの歴史や伝統を残す意味で「碩田」という学校名を残したい。・碩田地区にあり、慣れ親しんだ名前「碩田」をぜひ残してほしい。・地元に密着した名前であり、歴史的にも価値のある名前である。
②大分中央小中学校	・伝統ある3小学校と中学校が一つになることで大分の中心となる。・大分県を代表する伝統ある学校になってほしい。・大分の広大な地域性と大分の中心である。
②府内碩心学園	・府内=大分の歴史。その上に新しく築かれる学校であること。また、「碩」には、「優れている」、「広い、大きい」、「立派な」という意味があり、それに、「心」を組み合わせることで、「英知」と「広く優しい心」を持ち、世界にはばたく子どもたちを育てたい。小中一貫教育校となるため「学園」という言葉を使いたい。
碩田小中学校(小中一貫教育校、学園、学院、学舎、義務教育学校)	碩田なかよし小中学校
碩田かなえ小中学校	碩田校区小中学校
新碩田小中学校	碩田遊焉(ゆうえん)館、遊焉館(学校)
碩和小中学校	碩進館
府内碩心学園	府内城下町小中学校
府内中央小中学校	府内第一小中学校
大分府内小中学校	大分小中学校
大分中央小中学校(学園)	大分碩朋学園
大分低中等学校	豊の国、豊国小中学校
豊後小中学校	豊浦小中学校
豊のみらい小中学校	BUNGO小中学校
そうりん小中学校	瓜生島小中学校
北小中学校	弁天小中学校
聖明小中学校	優心小中学校
友愛小中学校	明愛小中学校
大希来小中学校	大輪学園小中学校
功情小中学校	大分明光、明光、光明小中学校
未来学園	こどもの未来学校
希望(のぞみ)学園(院・舎)	絆海(きうみ)小中学校
七色小中学校	心第一学園
	碩揚中吉(せきあげなかよし)小中学校
	碩田協学館(小中学校)
	碩美小中学校
	碩真学園(小中学校)
	府内小中学校
	府内まちなか小中学校
	大分一貫学校
	大分碩豊学園
	豊海小中学校
	光豊小中学校
	沖の浜小中学校
	ホルト学園(学院・学舎)
	親愛小中学校
	楽園小中学校
	明咲(めいしょう)小中学校
	明伸学園
	未来翔(みらと)小中学校
	しあわせ小中学校
	桜花(おうか)小中学校

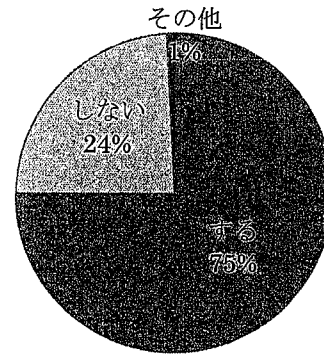
(4) 今後について

大分市教育委員会において決定 → 大分市議会において承認

2 碩田中学校区新設校の制服について
アンケート（保護者対象）

○新設校に制服を導入するか、しないか。

	する	しない	その他
荷揚町小学校	76	30	3
中島小学校	151	63	3
住吉小学校	86	21	0
碩田中学校	82	13	0
合計	395	127	6
%	75	24	1



【する】

- ・統一感 ・一体感 ・連帯感 ・帰属意識 ・協調性 ・規律 ・経済性 など

【しない】

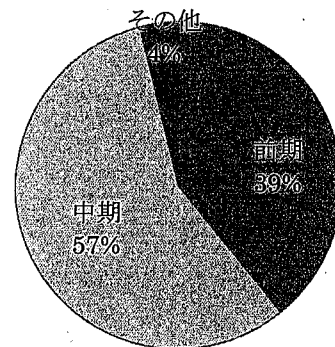
- ・経済性 ・機能性 ・健康管理 ・衛生（洗濯） ・意識面は制服に求めるのではなく教育が大切 など

【その他】

- ・現状では回答できない ・様々な教育、指導が大切 など（詳細は別紙）

○どの期から導入するか。

	前期（1～4年）	中期（5～7年）	その他
荷揚町小学校	35	48	2
中島小学校	57	83	13
住吉小学校	36	59	0
碩田中学校	37	50	4
合計	165	240	19
%	39	57	4



【前期から統一】

- ・統一感 ・幼稚園から制服 など

【中期から統一】

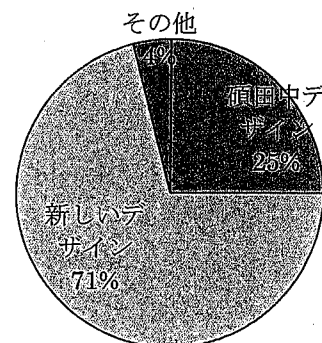
- ・前期の子どもたちの動きやすさ、遊びやすさ ・洗濯（汚れ） ・経済性 など

【その他】

- ・中1から導入 など（詳細は別紙）

○導入する場合、現在の碩田中学校の制服のデザインを引き続き採用するか。新しいデザインを採用するか。

	碩田中デザイン	新しいデザイン	その他
荷揚町小学校	20	68	10
中島小学校	30	122	1
住吉小学校	27	73	0
碩田中学校	36	52	5
合計	113	315	16
%	25	71	4



【碩田中デザイン】

- ・伝統 ・学生服とセーラー服 ・経済性 など

【新しいデザイン】

- ・新設校として新たなスタートにふさわしい制服 ・ブレザー ・かわいらしさ ・経済性 など

【その他】

- ・キュロット、ズボン等、個に応じた服装の選択 ・クールビズ対応 ・体温調節 など（詳細は別紙）

○新設校に制服を導入するか、しないか。

【する】

・統一感がある。・連帯感、一体感、仲間意識が生まれる。・統一感があり、小中のつながりが感じられる。・小中一貫への帰属意識が生まれる。・学校内等で見た目から子どもたちが受ける、感じ取る統一感も大事だと思う。・新設校であるので子どもたちの共通意識が出てくる。・小中一貫校にふさわしい。・新しいスクールアイデンティティーを作っていくうえで制服の導入は非常に有効だと思う。長く地域に愛される制服の採用を希望する。・その学校の生徒だという意識が芽生え、愛着がわいたりする。・今からの時代は個性も大切かもしれないが、協調性をはぐくむにはいい考えである。・新しいデザインの制服で全校統一した方が一体感があり、よいと思う。・修学旅行や見学遠足等外部へ出た時も統一性があり、何よりも愛校心は大きくなると思う。・規律性がある。・身だしなみを整える意識が生じる。・高学年が華美な服装になりすぎることを防げる。・服装を理由とする女子のトラブルが防げる。・洋服選びの時間がかからない。・毎日のコーディネートに気を遣わなくてよい。・個人差が出ない。・どの学校の児童生徒であるのかが分かりやすい。・地域の方々に認識してもらえる。・勉学意識がかなり向上する。・経済的である。・長期的にみれば経済的。・費用があまり高くないようにしてほしい。・高額にならないければ導入してほしい。・ベストのみ、ブレザーのみの制服、色指定のみ行うなどすれば経済的に助かる。

【しない】

・値段が高い。・費用がかかる。・負担が大きい。・成長が早くすぐに買い替えないといけない。・低学年の成長期に体に合ったサイズの制服を何枚も用意するのは、兄弟姉妹がいると支出が大きい。・塾に行くときは着替えるため、制服や私服が必要となり、服が増える。・制服は動きにくく、小学生が遊ぶには不自由な気がする。・汚れが気になり、外遊びがしにくい。・制服は、体調や気温による調節ができない。・寒さの感じ方、体調面からみても制服は調整しづらい。・暑さ、寒さの感覚、体調面を考慮すると、私服がよい。・一週間着続けることもあり不衛生。・ポロシャツ程度なら毎日洗濯も可能、スカートやズボンを毎日洗濯できないと不潔。・衛生上やサイズの変化の問題もあるため制服不要。・制服がなくても、連帯感や一体感は生まれる。・連帯感、一体感は制服がなくても学校生活を送っていく中で感じる場面は多々あると思う。・愛校心や連帯感を教育するのが学校であり、制服に求めるのは本末転倒。・制服がなくても、学校、保護者の協力、努力で地域とのつながりは図れる。・制服があっても、帰宅後や週末は私服が必要なので、購入は無駄である。・中学受験をする人もいるので、私服がよい。・転勤の方が多い地区のため、負担にならないよう、私服希望。・場所がら、転入、転出が多いので制服がない方がよいと思う。・子どもの希望。・東京、大阪等の都市部では、制服がないのが一般的。・1～4年生までは、汚れを気にせず遊んでもらいたい。・小学生には必要ない。・スカートは遊びには不適切。・前期は成長も速いし、動きも活発なので自由度の高い服がよい。・全期間私服で良いと思う。・自分たちで自由に動きやすい服装を選べる私服希望。小中一貫だからといって制服を導入して欲しくない。

【その他】

・何回買い替えが必要か分からないので、何とも回答できない。・制服については、前期1年生から長く在校する保護者の意見を重視するとよい。・式典などの時のみ着用する統一服があるとよい。・「制服」を「標準服」とするのはどうか。・体温調節のため、合い服の着用期間を長くとる。・気温の変化に対応しやすい服にして欲しい。・お下がりやバザーなどでいただけると助かる。・制服＝ウール素材＝汚されない＝活発に遊べない・・・ではなく、せっかくの新設校なので、素材も含めて素晴らしい制服をご考案いただきたいと思う。楽しみです。・制服を着ているから見守られているというのは間違い。その逆もある。・規範意識を高めるのは教育である。・資料から制服ありきの考えに基づく調査であることがうかがい知れる。「所属意識」、「仲間意識」は優れた教師の指導のもと、子どもたちの中に自然とはぐくまれるべきものであり、制服だけにその効果を期待するのはいかがなものか。・学校は買うのも着せるのも強制はしないとう立ち位置。大阪市立の学校はよくあるそうである。でもほとんど皆購入し、式や行事、校外学習の日は着せて（着て）いるようである。・制服に期待する効果はわかったが、私服でどんな問題があるのか。また、私服のまま懸念されることは何か。先生たちの考えを知りたい。・現在の小中学校の児童生徒、先生は、今までにないやりにくさ、窮屈さを感じてないか。・スカート丈など校則を新しく作るのか。校則から逸脱した児童生徒はどうするのか。制服を正しく着ることに目がいき、本当の問題が見えにくくなるのではないか。・大丈夫だろうと思ってスタートさせたところ、意外に大変で苦しいということを制服の部分では無いようにしてほしい。・制服にすると、髪型、髪飾り、靴下、靴等も学業の妨げにならないものとなってしまう、言う方も言われる方も統合前の方がよかったと後ろ向きな考えになりそうである。・一日の大半を着用して過ごす、過ごさせるので、子どもたちと先生たちがどのように考えているのかも、アンケートしてはどうか。クラスで議論、討論できるなら、させてもよいと思う。・児童の希望を一番に優先してあげて欲しい。小中一貫にすることで学校格差はないか心配です。・制服があれば安心、または、費用がかかるので反対という次元の検討はしないで欲しい。・子どもたちのために、この新小中学校で何ができるか、どう教育していくかが大切。・すべてを新しいものにするのはどうかと思う。

○どの期から導入するか。

【前期】

・早いうちに制服に慣れた方がよい。・幼稚園から制服に慣れている子も多いので、そのまま新入時から導入した方がよい。・統一感を考えると1年生から制服がよい。・登下校時、同じ学校の生徒だと認識するのに、1年生からだと上級生に認識してもらえる安心感がある。・低学年の方が着替えの際に同じものだとみんなの手間が同じだと心配ない。・入学式や卒業式に使用できる。・同じ校舎で、制服があったりなかったりしては不自然な気がする。1年生が入学式に1回着るだけの服を買う費用で制服を買った方が経済的。

【中期】

・前期には制服は不要。活発に動く時期でもあり、動きやすい私服がよい。・低学年は動きにくい。汚れを気にして外遊びが思いっきりできないのではないかと。・1～4年生は服の汚れを気にせず遊んでもらいたい。・1～4年生は私服で、汚れてもよいようにしてほしい。・服装も個性。いろんな子がいることを服装からも感じてほしい。・男児は、服の消耗（特にズボン）が激しいため、出費がかさむ。・1～4年生は成長期でもあり、不経済。・前期からだと体の成長によって何度も作り直すと費用がかかるので、早くても中期からの方がよい。・学年が上がるにつれて私服にも個性が出てくる。風紀の乱れが目立ち格差が生じるため。・中学生からは、制服というイメージが強いため、仕方がないと諦められる。・小学校低学年がプリーツスカートだと下着が見えそうで気になる。汚れも気になる。中学生以上だと、現状でも制服なので、5年生～導入希望。

【その他】

・なるべく安く→転勤族なので負担が大きいのは嫌です。・6年生まで私服で良い。・現在の中1（7年生）からの導入を希望。・6年生までは、制服を導入した場合、汚れが心配。・サイズが変わるたびに何度も買い替えるのは支出が大きい。・必ずしも校区の「小→中」ではない子もいるので、中学校からがよい。・公立校なので、市内校と足並みをそろえた7年生の時期からの導入がよい。・6年生までは同じ制服。・6年生までは、お昼休みも体を十分に動かしてほしいので、7年生から制服。・中学生からでよい。・4→5、6年で制服になっても成長期であるため買い直しが多くなる。7年生からの導入がよい。・12歳までは外遊び中心になるので、制服の汚れや破れのたびに補正等の費用がかかる。・賀来小中の保護者の知人によると、小学生の制服はなくてもよい、ない方がよいと意見を言っていた。そのことを踏まえると、中学生からの制服導入で十分。（中期の導入にも△）・小学生、中学生が区別できたほうがよい。・服装を汚して帰る確率が高いので制服の場合、2着は必要になる。負担である。・子ども自身が自由な服装を楽しみにしている点もある。・小学生の間は成長が著しい。汚したり、服を破ったりすることも多い。途中で買い直すのは負担に思う。中期でも7年生からの導入なら良いと思う。・子どもの体型の変化が著しい中期からでは早すぎる。・私服だと毎朝、自分の着たい物、組み合わせまたは気候に応じて自分で考えられるので自主性を育てることができる。・上級生になるという自覚が生まれてくる。・後期からがよい。5年生時の制服が9年生時までサイズ変更せずに着用できるのか疑問。おさがり、バザー等活用するのに抵抗のある場合費用がかさむ。・転勤の多い地区なので、後期に制服導入がよい。

○導入する場合、現在の碩田中学校の制服のデザインを引き続き採用するか。新しいデザインを採用するか。

【碩田中のデザイン】

・学生服がよい。・現在の制服がよい。・中学生は学生服、セーラー服がよい。・下に着るシャツを指定して、合服としてほしい。・伝統ある制服がよい。・伝統も受け継いだ方がよい。・碩田中学校の伝統をせめて制服で残してほしい。・このままのデザインを維持してほしい。・お下がりを活用したい。もらえる。・上の子の制服があるから、碩田中学校のデザイン採用がよい。・学校も名前も変わり制服まで変わってしまうのはさびしい。新しくする必要は全くない。そんなデザイン料経費がかかるなら、子どものために教材や本などを購入してほしい。・制服バザー等を活用できる。・現在のデザインをいかしつつ、アレンジしてはどうか。・賀来小中学校のデザインを見る限り、揃えるものが多そう。支出がかさむ。・新設校だからといってすべてを新しくする必要なし。しかし、女子の制服はもう少しかわいいデザインで。・7～9年生を現碩田中学校の制服にする。・小中一貫になっても元来碩田中学校区なので、名前が変わっても制服のデザインはそのままでも問題ない。・ブレザーとかより、セーラー服と詰襟がやっぱりよい。・移行期を考えるとこのままがよい。せめて制服はこのまま残してあげたい。・ブレザーの着こなしが心配。・ブレザーは下に着こめないため寒い。

【新しいデザイン】

・新しい学校づくりにふさわしい。・新しい学校になるので、新しいデザインがよい。・これを機に一新。・統合し新しく変わるので、新しいデザインを。途中で残り1、2年の場合は、各自で検討してもらえばよい。・新しくできる学校なので、各学校の伝統を引き継ぎつつ、新しいデザインを望みます。・新設校スタートなので、新しいデザインがよい。・機能性を重視して欲しい。・動きやすさを最優先にしてほしい。・女子については、キュロットやキュロット

トスカートのタイプのものもよいと思う。・もう少し明るく機能的なものを希望。・デザインについては、動きやすさを重視してなるべくシンプルで、洗濯もしやすく、長く着用できる耐久性のあるものを希望します。・アイロンが不要な素材で。・ブレザー希望。・ブレザータイプの方が季節の変わり目に調整しやすい。ベスト、ブラウスで。・汎用品が利用できるようなデザイン希望。・ブラウス等既製品ベースで作って安価にしてほしい。・コストが高くなるのは嫌。・1000円程度のポロシャツ希望（白色だと透けるので濃い色）。・デザイン料などで料金が高くなりすぎるようなら現在のデザインでも仕方ない。コストパフォーマンス等を考慮したデザインを考えて欲しい。・上がポロシャツ、下はズボン、または、スカートやキュロット。・前期と中期で合わせる必要はない。（スカートは同じものでもよい）・前期のみ新しいデザイン。・前期の方が、より着脱しやすいデザインにしてほしい。・前期と中期でズボン丈を変える。選べる。・中期、後期とつながりのあるようなデザインで買い替えなくてもよい物。・ズボン、スカート、ブレザーは統一。その他シャツなどは色指定がよい。安く買える。・前期のうちは帽子のみ。白のポロシャツにキュロットスカート、ストレッチのきいたズボン。・前期は、動きやすいズボンも着用できたほうがよい。・中期、後期でリボンやネクタイの色を変える。・前期から制服が導入になった場合、男子は短パンではなく、長ズボンにしてほしい。寒い日がかわいそう。・前期から制服を導入するのであれば、スカートの下のスパッツを着用可にしてほしい。・夏服冬服の着用を自由にしてほしい。・前期はズボン、スカート、シャツ、ポロシャツ、中期から長ズボン、スカート、ジャケットかデザインセーラー。・今の色合い（ネクタイ、セーラー）が他校と比べて暗い。雰囲気も重い。かわいらしくなくて子どもたちがかわいそうに思う。・地味で暗いデザインなので変えてほしい。・詰襟デザインは、子どもに似合わない。・1～6年生までを賀来小中学校のようなものにする。・新しくする際は合い服（カーディガン、はおりもの）も作ってほしい。・学年や期がわかるように、ネクタイやリボンの色を変える工夫も。・デザインは公募で。・学生もクールビズ対応をして欲しい。・碩田中のOBですが、地味でダサイので新デザインを希望。・制服のデザインは、前期中期後期分けずに同じデザインがよい。・1～9年生まで同じデザインなら、より一層、連帯感が生まれる。・制服を導入するようであれば、あそこの学校の制服はかわいいよねと言われるくらいのものでしてほしい。

【その他】

・子どもたちにとって使い勝手がよい制服であるためのマイナーチェンジは大切。・校名が「碩田」ならば、現行でもよい。校名が新しいものなら新しいデザインを。・かわいい服装を。・導入しても、ブリーツスカートの制服には反対である。・制服を導入するのであれば、半袖、長袖の着用自由。上着、カーディガンの自由。靴下の長さの自由など選べるようにすべき。必ず帽子は必要。・実用的であってほしい。女子はキュロット式、スカートも選択できるようにしてほしい。・幼稚園では、発表会等の時、様々な参観者に対応するため、また、幼い子を狙った性犯罪等から守るため、スカートの下にスパッツを着用するよう指導があった。同様にスパッツ対応OKなどの配慮をするなど、安全面について誠意をもって対応してほしい。（小学生はまだ自分で気を付けることができない子どももいるので）・小学生男子の制服が1年中半ズボンはおかしい。女子のスカートは長めがよい。・性同一性障がい等の心の中で抱えてしまっている場合の対応。スカートが嫌な子もいる。・1～6年生と7～9年生、小と中に分けた方がわかりやすい。・低学年のスカートは運動、遊びによっては下着が見えるのが若干心配。下にはくものも一緒に考えてもよいかもしれない。・5～9年生もブラウスではなく、ポロシャツ希望。・女子のスカートについては、レギンスなどで対応できるのではないか。

○移行期間をどのように設定するか。

・新設校になり、学校もすべて新しくなる時に合わせて導入する方がよい。・開校年から新制服で。・開校時に統一した方がよい。・開校に合わせて準備し、新設校でスタートするときは統一している方がよい。・移行期間は設定せず、一律スタート。・年度当初は全員揃えてもらう。・半年ほどで良い。・1年間。・1年かけてゆっくりすればよい。・1～2年設けたうえで3年目から決められた制服とすればよい。・移行期間は数年間のみで、現デザインにこだわらなくてもよい。・開校時の新入生から（今の中1・小6は現在の制服のまま、あるいは希望者のみ）・2～3年でよい。（新設校開校時の7年生が卒業するくらいまで）・今すでに中学生で制服がある場合は購入し直す必要なし。・制服導入になった際、1年で着用期間が終わる4年生に関しては選択制。・新設校に通う5・6年生の中には、中学受験、転勤等、他の中学校に移る予定の子もいる。短い期間のため、制服購入は負担が大きくなるので配慮すべき。他の小中一貫の新設校の例を参考にするとよい。新設校開校の年から中期学年（5年～）着用できるようにする。買い替え時に新しいものにする。はじめは、バラバラだが何年か期間がないと揃う状態になるのは難しい。・前期、中期と分けて導入すると、4年生は1年間のみの使用となる。配慮が必要。・現在の碩田中学校のデザインを採用し、中期からの導入をすれば短期間の移行期間が必要。・2種混合型。今の制服をもっている人はそのまま。・7年に進級した春より。・新1年生はもちろん、在校生は希望者から移行。・8、9年生は卒業までの期間が短いので、現状のまま移行はしない。・フレキシブルに対応を。現6年生は新設校に2年間在籍のため、中1に上がる前に間に合えばありがたい。新設校の1年生に入学する子から。2年の期間を設ける。・人それぞれなので本人が気にしなければ今の制服を着用可にしてはどうか。・4～5月。3月に注文して夏服のタイミングまで。・新デザインはよいと思

うが、開校時の9年生はそのままの制服で。・経済的負担を考えて、買い替えなくてもよい。現在の物でも可として、数年かけて統一していけばよい。・碩田中の制服があるので、現在もっている方は、卒業までどちらでも選べるように。・後期の新学期から一斉に揃える。・移行期間は、どちらを着用しても可。・買い替えの時、新しいデザインを購入すると出費の方も助かる。・お下がりをあてにしている人も多いはずなので、新設3年後位までは移行期間にしてほしい。中期(5、6年生)の間を移行期間にする。女子はこの間の成長が著しいから、中期7年生から制服で統一。・統合後すぐ全て準備になると兄弟が多い家庭は出費がかさみ負担が多いので、移行期間を2年間位にしてほしい。・統合時は8、9年生の人は旧制服で可。・現在小6と中1の方々は選択制にする。・移行期間を設け、旧制服を持っている学生のみ着用を許可する。・全体で制服導入であれば、後期は、そのままの旧制服。・2年間を移行期間に。・移行期間は私服で良いなど配慮してほしい。・8、9年生は旧制服のままで5年生から新しい標準服、7年生が制服を購入すればよい。・制服を変えるのは大変なので、リボンやネクタイの色を変えるなどはどうか。そうすれば移行期間も必要ないのでは。・そろわなくてもいいのでは。新2、3年生(8、9年生)のことを考慮して移行期間を設けてほしい。・新設時にすでに中学校の制服がある人は卒業までそのままに。新設時に7年生になる人は新しい制服を着れば2年で移行が終了する。・新1年生、新4年生でタイミングが合う人はその時から。在学中になる人は私服(現碩田中の制服)でよい。・統合時に7年生に当たる児童や後期に当たる学年の児童は、新制服になった場合配慮が必要。・学校ができあがってから、新1年生が入ってくるのと同時で良い。・現在の碩田中学校の制服の生徒が卒業するまでに。・中学生は現在の制服で良い。・後期(8、9年生)卒業までは、旧碩田中学校制服。3・1年4月時、全学年新制服。・2、3、4年は移行期間を設ける。新1年生は購入、2、3、4年生は自由。中期になるときに購入。・29年度の4月時点で5年生～全員制服購入。28年度までの入学の碩中生(8、9年生)は現制服着用。・碩田中の制服を着ている間の2年間。

○その他のご意見、ご要望など

・伝統や格式を引き継いでほしい。・何か面影を残してほしい。・動きやすさと経済性。・女子スカート9,000円は高いと思う。・統合時、全て揃えると出費がかさむ。補助等の検討を願う。・就学支援の対象外であるため、支援を受ける世帯は大変。・小学生の子どもが予定外の制服導入になるから、費用の補助があるとよい。・制服導入となった場合、9年間の中で必ず買い替えが必要になると思うので、金額は抑えてほしい。・賀来の制服のブレザーなどの高さに驚いた。ポロシャツ、ブラウス、シャツなどは、最低2枚はいるので、白で無地なら指定しなくてもよいとしてほしい。高校に入ったらもっとお金がかかるので、小中で制服にもものすごくお金がかかるのは反対。・導入するのであれば、丈夫で洗濯も家庭できて、乾きやすい生地がよい。経済的に負担の少ないものを。・5～9年生のシャツが市販の安価なもので代用できるなど、自由度を高くしてほしい。冷暖房完備となるが、クールビズに対応できる(夏季はノーネクタイ)こと、カーディガン等は市販のものでも可能とするなど考慮してほしい。・ブレザーの下に着るシャツのアイロンがけが大変。・制服導入は賛成ですが、動きの激しい前期は避けて欲しい。前期のうちは外遊びをしたい時期なので私服がよい。洗濯が大変です。・家庭で洗濯できる素材希望。・ノーアイロンで洗濯しやすい物の導入がよい。・制服をきれいに着用させるには、親が洗濯する際に心配りをしたりするので、親の自覚にも繋がりがよい。・制服より生活が大事。・新しい制服が新設校の目玉になってはいけない。・この学校に入れて良かったという思いが制服に出るとよい。・四季の気温の変化が複雑なので、制服になったとしても、カーディガンや上着の着用で調節できるように緩和して欲しい。・冬のコートやジャンパーも制服としてあるとよい。・通勤族の多い地域なので、制服バンク等の取組に積極的に取り組んで欲しい。・小学校の統合に中学校まで巻き込まれて小中一貫とされたが、中学校の伝統まで全て無くさないで欲しい。・リボンやスカートの色など何色か作って、自分たちでコーディネートできたら楽しそう。・資料の参考意見で7～9年生の意見がないのが気になる。中学生の意見も必要ではないか。・兄弟姉妹がいる家庭では、出費がかさむなどの場合の補助や制度がしっかりしていれば制服で良い。・衣替えの時期は一律ではなく、個人の体感差や気候に応じ、個人の裁量に任せてほしい。ポロシャツでカーディガン使用可など柔軟に対応してほしい。秋でも夏日があることも多く、汗だくになっているのは合理的でない。・新しい制服を決めるのに、子どもたちにアンケートをとってほしい。・制服があれば新しい学校の認知度も高くなっていくと思う。・デメリットはないのだろうか。・制服で外遊びをすると汚したり破れたりすると思うので、体操服に着替えて過ごすともよいと思う。女子もスカートだと元気に遊べない。・制服だと皆同じ子どもで区別判別しづらい。これまで必要なく小学校生活を送れたことに対し、あえて制服を導入するメリット(制服でなければならぬ理由)をもっとたくさんあげてほしい。・夏と冬と2期にかけての購入であると助かる。・カバンのデザインも統一した方がよい。・体操服はどうなるのでしょうか。・体操服や体育館シューズ等、他にも買い替えるものか、早めに知らせていただくとよい。(あと一年なのでサイズ替えに購入するか迷っています。)・靴、靴下、カバン、帽子等はどうなるのでしょうか。・部会でどういった意見、要望が現時点でできているか示してくれてからアンケートをとってもよかったです。準備委員会でどのようなことが話し合われ決めているのかよく分からない。・新設校に関するいろいろなアンケートを記入するが、その結果が全く公表されていない。公表してください。決定事項に対する不信感(最初から決まっている)が大きい。

3 メモリアルコーナーについて

(1) メモリアルコーナーの概要等

- 目的、設置場所（地域連携室、交流ラウンジ）、展示ケースの仕様等

(2) 検討事項

- どのような物を展示するか。
- 4校（碩田中、荷揚町小、中島小、住吉小）の共通する展示物を何にするか。
- 選定した展示物をどの展示スペース（地域連携室、交流ラウンジ）に配置するか。

4 校歌、校章について（今後、制作方法等について協議）

(1) 校歌の制作方法等（作詞・作曲）

○作詞・作曲

- ・業者委託による制作など
- ・児童生徒、教職員、保護者、地域住民等の関わり
- ・学校名、校訓、グランドデザイン、曲想、ハーモニーなど
- ・学校部会等による検討

○予定

- ・制作方法等検討 平成27年10月 から 平成27年12月頃まで
- ・情報収集、制作、検討、最終決定 平成28年 1月頃から 平成28年10月頃まで

(2) 校章の制作方法等

○校章デザイン

- ・児童生徒、教職員、保護者、地域住民等の関わり
- ・業者委託による制作
- ・学校部会等による検討

○予定

- ・制作方法等検討 平成27年10月 から 平成27年12月頃まで
- ・情報収集、募集、検討、最終決定 平成28年 1月頃から 平成28年 8月頃まで

今後の予定（案） ※協議の進行状況により随時変更します。

主な日程		内容					備考
	開校準備委員会・ 学校部会・関係課会議	校名	制服	校歌	校章	メモリアルコーナー	
4月	開校準備委員会①(4/21)						
5月	学校部会①(5/11)	新設校のグランドデザインの共通理解等、部会の検討事項及び取組日程・内容等の概要について確認					
6月	学校部会②(6/16)	基本方針・検討方法等					
7月	学校部会③(7/28)	検討方法等	教育効果、検討方法等				
8月	開校準備委員会②(8/18)	基本方針・検討方法等決定					
8月	学校部会④(8/25) 中止						
9月	学校部会④(9/29)	校名案検討(校名案募集)	検討方法等				
10月	学校部会⑤(10/20)	↓	↓			概要、検討事項等	
11月	開校準備委員会③(11/17)	校名案検討、校名案決定	教育効果、保護者意見等報告	今後の計画報告	今後の計画報告	概要、検討事項等報告	
11月	学校部会⑥(11/24)		検討結果に応じ、導入の可否、業者選定方法等	基本方針、制作方法、予算等検討	基本方針、制作方法、予算等検討	基本コンセプト等	
12月	学校部会⑦(12/15)		検討結果に応じ、導入の可否、業者選定方法等	基本方針、制作方法、予算等検討	基本方針、制作方法、予算等検討	↓	
1月	学校部会⑧(1/26)		業者選定方法、基本仕様、デザイン等	情報収集、業者選定等検討	情報収集、業者選定等検討	↓	
2月	開校準備委員会④(2/16)		業者選定方法、基本仕様、デザイン等	基本方針、制作方法、予算等検討	基本方針、制作方法、予算等検討	基本コンセプト等	
2月	学校部会⑨(2/23)		基本仕様、デザイン等広報	委託or公募、内容検討等	委託or公募、デザイン検討等	記念品等検討	
3月	学校部会⑩(3/)		↓	↓	デザイン検討	↓	
4月	開校準備委員会⑤		基本仕様、デザイン等広報	委託or公募、内容検討等	委託or公募、デザイン検討等	記念品等決定	
5月	学校部会		業者選定・決定	業者選定・決定	業者選定・決定	メモリアルコーナー準備	
6月	学校部会		デザイン検討	詞、曲検討	↓	↓	
7月	学校部会		↓	↓	↓	↓	
8月	開校準備委員会⑥		デザイン検討(決定)	詩、曲検討	校章制作完了	メモリアルコーナー準備	
8月	学校部会		(デザイン決定)	↓		↓	
9月	学校部会			↓		↓	
10月	学校部会			↓		↓	
11月	開校準備委員会⑦			校歌制作終了		メモリアルコーナー準備	
11月	学校部会						
12月	学校部会						
1月	学校部会						
2月	開校準備委員会⑧						
H29	開校	施設一体型小中一貫教育校開校					

学 校 支 援 部 会

【これまでの経過】

◆通学路

通学路（案）についての各校区の要望を整理して、市に提出
通学路の交通安全対策庁内連絡会議（以下連絡会議）にて協議
連絡会議関係者による通学路予定コースの合同現地地点検の実施
通学路（案）上の防犯灯及び交通規制の状況確認

◆P T A

小中それぞれのP T A組織の一本化
開校時のP T A役員の選考方法とその時期
大分市P T A連合会との関係

【具体的内容】

◆通学路

合同現地地点検（別紙①～③参照）

県・市の関係機関、警察（中央署）の点検に学校、保護者、自治会（地域住民）も
参加して点検を行う（10月19日実施）

要望箇所の状況調査及び学校、保護者等の要望の聞き取り

防犯灯

明るさの確保が必要な箇所については、自治会の協力を得ながら今後検討していく

交通規制（別紙④～⑤）

新設校建設地周辺の交通規制を関係機関と協議する

◆P T A組織について

小学校中学校と分けず一本化して組織する（第1学年～9学年）

碩田中学校P T Aの組織を基本として協議し、専門部の編成等検討していく

素案の作成はP T A会長を中心に4校P T A合同で行い、学校支援部会で協議する

【今後の取り組み】

◆通学路

連絡会議からの回答を受けて、12月の部会で協議し、安全面等の確認をする
必要があれば通学路（案）の見直しを行う

学校・保護者・地域住民による見守り体制について協議する

◆P T A組織について

組織（役員等）の素案作成

開校時の役員の選考方法とその時期

規約について

会計（運営予算）等について

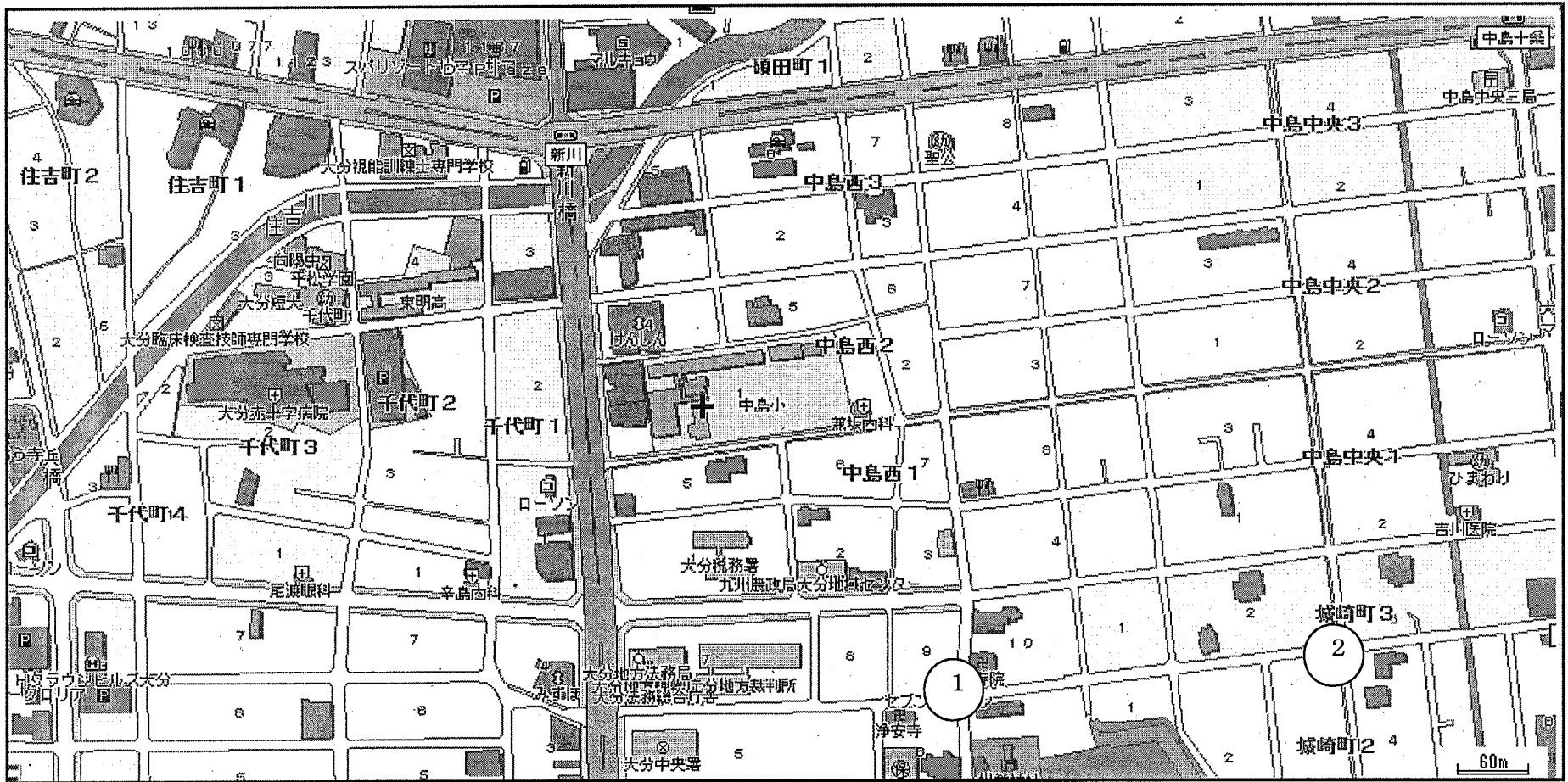
碩田中学校区新設校の通学路に関する提出要望事項

①

平成27年9月29日現在

NO	学校名	要望事項	場所	要望状況	箇所	件数	
1	荷揚町小	1 歩車分離式信号機の設置	荷揚町10番 福寿院 南西角交差点	新規	1	1	
2		2-①歩車分離式信号機の設置	城崎3丁目3番 安部工務店ビル 南西角交差点	新規	2	2	
		2-②注意喚起を促す路面標示		新規		3	
3	中島小	3 歩道を走る自転車の一旦停止、減速を促す歩道整備	中島中央3丁目 大分港線 碩田町交差点-南側歩道	新規	3	4	
4		4-①非常時警報設備の改良(地下道)	大在大分港線 中島西ホンダ北側の地下道	新規	4	5	
		4-②出入り口の安全対策(地下道)		新規		6	
		4-③排水対策(地下道)		新規		7	
5		5 路側帯の設置	浜町東3組と浜町東2組の境の道路	新規	5	8	
6		6 歩行者用信号機の設置	浜町北2組	新規	6	9	
7		7 横断歩道の設置	住吉町1丁目と住吉町2丁目の境	新規	7	10	
8	8-①信号機の設置	8-②通学時間帯の时速制限	泉町 新島橋付近の横断歩道上	新規	8	11	
				新規		12	
9	9 歩道の延長	碩田町2丁目 曳船橋から中島橋付近	新規	9	13		
10	10 路側帯の設置	碩田町1丁目 碩田町一交差点先北側の車道	新規	10	14		
11	住吉小	11-①歩道橋の設置	豊町1丁目碩田町3丁目	新規	11	15	
		11-②時間帯規制		新規		16	
		11-③歩車分離式信号機への変更		新規		17	
12	12 歩道橋の改修	住吉小学校前の歩道橋	新規	12	18		
13	13-①非常時警報設備の設置(地下道)	13-②蛍光灯をLEDに変更(地下道)	中島十条の地下道	新規	13	19	
				新規		20	
14	14 横断歩道橋の新設	臨海産業道路(碩田中入口付近)	継続	14	21		
					荷揚町小	2	3
					中島小	5	7
					住吉小	7	11
					合計	14	21

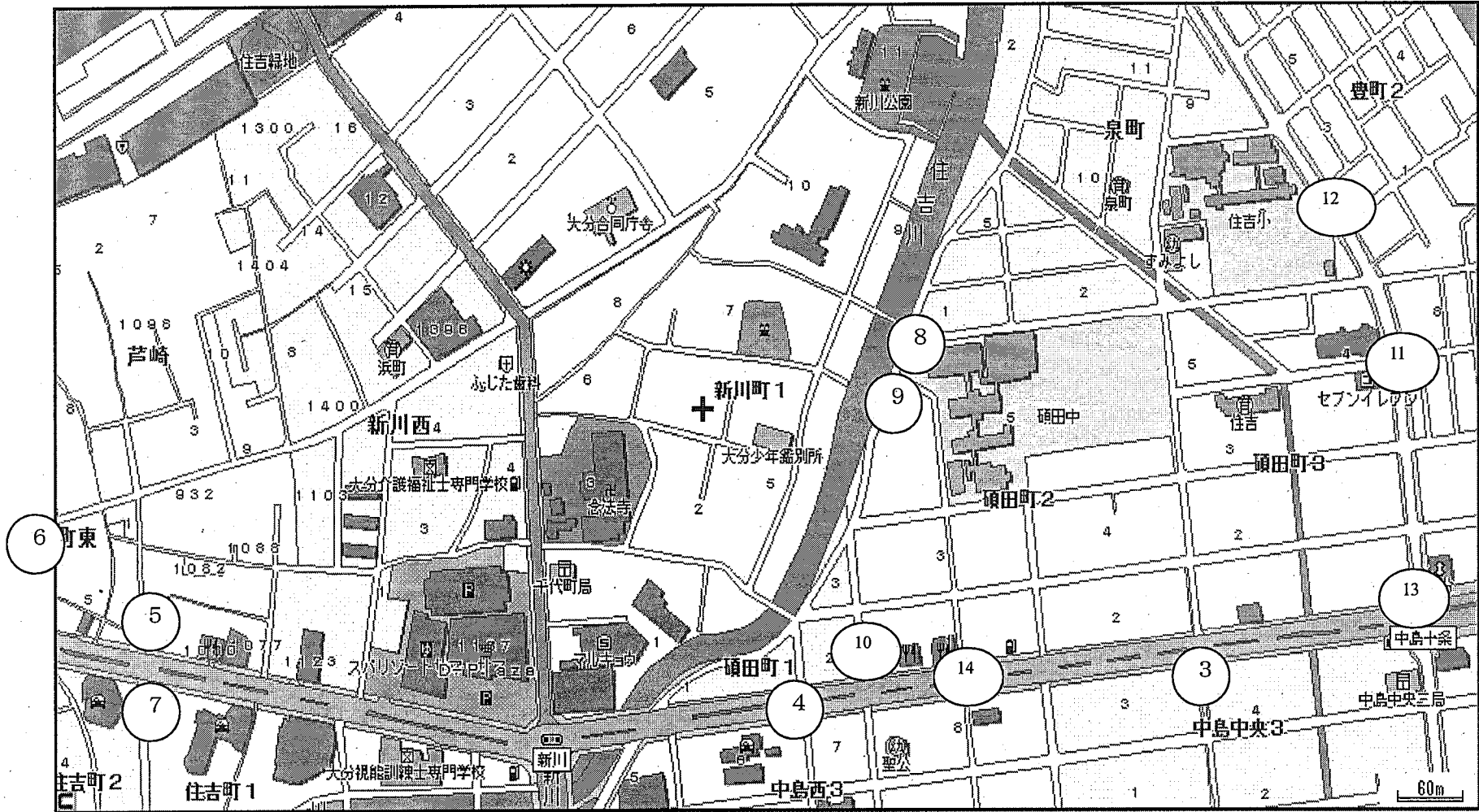
合同点検箇所 №1

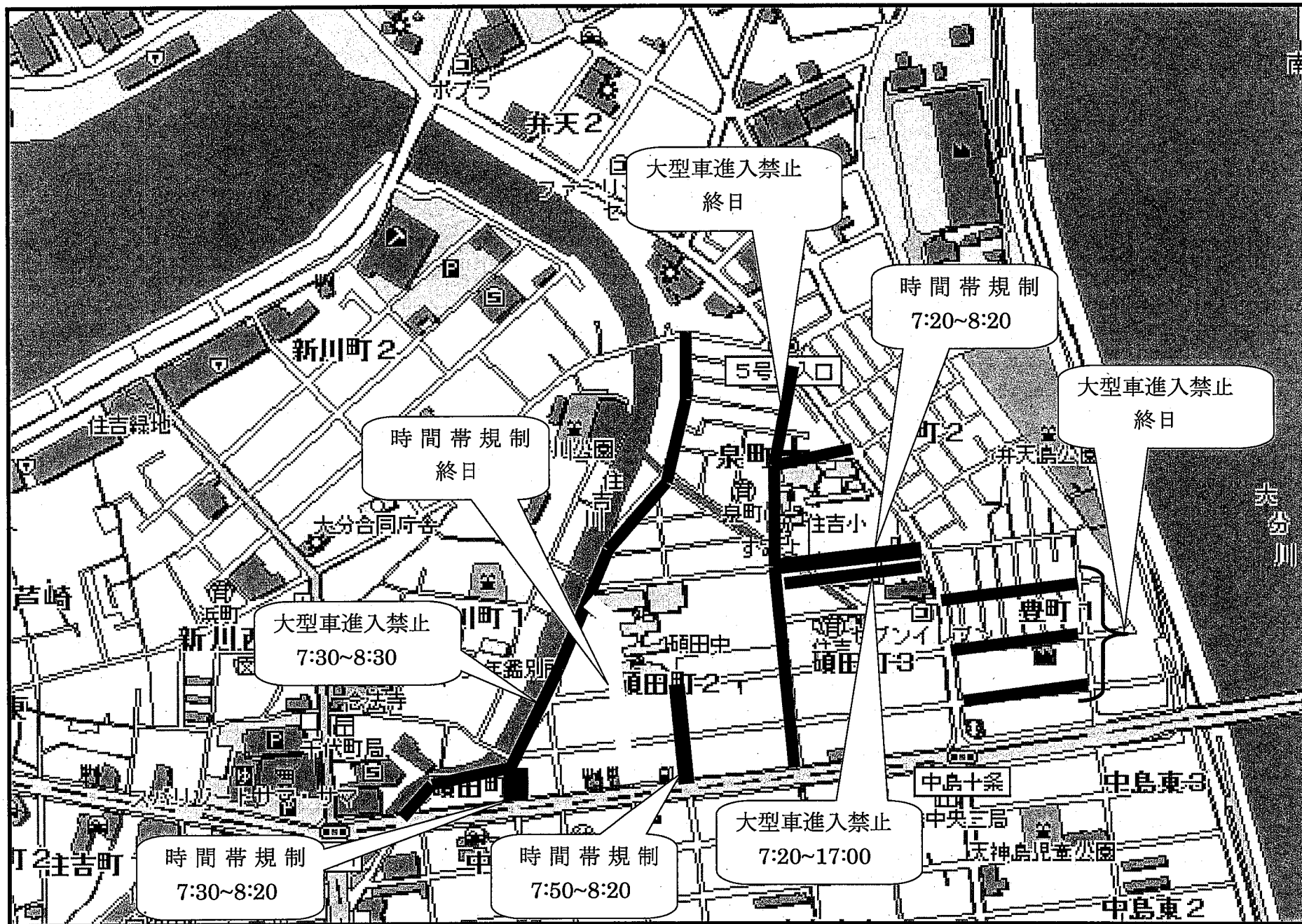


合同点検関係機関

大分土木事務所、大分中央警察署、大分市道路建設課、道路維持課、市民協働推進課、学校支援部会事務局

合同点検箇所 №2





施設部会報告

工事の進捗状況について

- 施工業者主催の「工事安全祈願祭」が、9月11日（金）に執り行われました。なお、学校や地域、PTAからは、各代表者に出席して頂きました。
- 9月より、建設工事が本格的に着工し、現場事務所や仮囲い（高さ3m）が設置され、現在では、杭工事が行われています。

（杭工事の様子）



新設校における施設開放について（第4、5回）

- 新設校における施設開放を行う場所（案）として、「体育館」、「武道場」、「図書室」、「グラウンド」、「プール」を選定しました。
- 利用の実施方法については、現行と同様に、各学校で実施している社会体育団体調整会議にて行っていくことをご了承を頂きましたが、今後も意見聴取を行う予定としています。

新設校に係る備品（家具）について（第4、5回）

- 「アトリウム」、「ランチルーム」、「オープンスペース」の各部屋について、より有効な活用事例の紹介を行い、概ねご了承を頂きました。
- 委員からは、交流スペースは、「児童生徒の日常的な交流や集会」や「多様な学習活動」が可能となるような、機能的な備品配置が望ましいとの意見が出されました。また、実際に備品を「見たい・触りたい」との意見があったことから、配置予定の備品を取り寄せ、体験してもらうように計画しておりますが、今後も意見聴取を行う予定としています。